

第 67 回海岸工学講演会にて研究発表を行ないました(2020/11/10-13)

場所：オンライン

参加者：佐藤准教授，山下准教授，宮本助手，木村 (D1)，榎谷 (M2)，鎌田 (M1)，田畑 (M1)，渡邊凌 (M1)

11月10日(火)～13日(金)の4日間、オンラインで土木学会が主催する「第67回海岸工学講演会」が開催されました。土木学会海岸工学委員会では、査読付きの論文集である「土木学会論文集 B2 (海岸工学)」を編纂しています。海岸工学講演会は、この論文に掲載された論文について発表会を行ない、参加者との意見交換を行なうものです。

当研究室からは学術講演会で6編の論文が採択され、佐藤准教授，山下准教授，宮本助手，木村 (D1) 榎谷 (M2)，鎌田 (M1)，田畑 (M1)，渡邊凌 (M1) が登壇し、発表しました。各発表者の講演題目等は以下の通りです。

| | |
|--|--|
| ○佐藤翔輔，今村文彦 | 極近地津波における避難行動の実態調査と分析 |
| ○山下啓，菅原大助，有川太郎，高橋智幸，今村文彦 | 海底基盤データを利用した津波移動床解析の改善の試み——気仙沼湾での事例—— |
| ○宮本龍，Anawat SUPPASRI，今村文彦 | 建築年代を含めた建物津波被害の実態分析とそれを考慮した |
| ○木村裕行，Anawat SUPPASRI，山下啓，阿部洋土，今村文彦 | 東日本大震災におけるアマモ場の被害実態と津波外力との関係 |
| ○榎谷亮太，山下啓，Anawat SUPPASRI，今村文彦 | 巨大津波特性と津波堆積物の土砂供給源に関する数値解析——2004年インド洋大津波と2011年東北地方太平洋沖地震津波—— |
| ○鎌田紘一，門廻充侍，芹川智紀，Anawat SUPPASRI，今村文彦 | 東日本大震災における宮城県自治体での被害特性と死因傾向の考察 |
| ○田畑佳祐，佐藤翔輔，谷川恒，今村文彦 | 高知県における津波碑の分類体系の試みと建立実態の評価分析 |
| ○渡邊凌生，Anawat SUPPASRI，今村文彦，山下啓，Kwanchai PAKOKUSUNG，Carrie GARRISON-LANEY | 米国ワシントン州ディスカバリー湾における1964年アラスカ地震津波による地形変化 |
| ○倉本和俊，牧野嶋文泰，Anawat SUPPASRI，今村文彦 | 遺伝的アルゴリズムによる沖合津波観測点配置の多目的最適化 |
| ○長谷川夏来，サッパシー アナワット，今村文彦 | 多様な津波被災データに基づく建物被害と人的被害の高度な推計法の検討 |



佐藤翔輔准教授



宮本龍助手



榎谷亮太 (M2)



鎌田紘一 (M1)



田畑佳祐 (M1)

(文責：渡邊凌生)